

(公社)日本雪氷学会東北支部

ニュースレター No. 68

2018年度東北支部大会の開催案内

2018年度(公社)日本雪氷学会東北支部大会(理事会、総会、研究発表会)を、弘前大学(弘前市)にて下記の予定で開催いたします。今年の大会も昨年と同様に、日本雪工学会北東北支部との合同開催となります。皆様のご参加ならびに研究発表をよろしくお願ひ申し上げます。今回、研究発表プログラムについてお知らせしますので発表予定者はご確認下さい。

開催日時: 2018年5月11日(金)、12日(土)

開催場所: 弘前大学創立50周年記念会館 2F 岩木ホール(総会、研究発表会)

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地

<http://www.hirosaki-u.ac.jp/jimu/soumu/kaikan/index.html>

主催: 日本雪氷学会東北支部

共催: 日本雪工学会北東北支部、弘前大学大学院理工学研究科

発表方法: 発表は口頭発表です。発表時間は質疑応答を含めて1件15分です。会場にプロジェクターとパソコンを用意しますので、発表者はあらかじめUSBメモリ等からパソコンのハードディスクにプレゼンテーションファイルをコピーしておいて下さい。なお、Mac/Linuxユーザーまたはコピーに適さない動画などをご利用の場合は、ご自身で発表用のパソコンを準備して、画像信号のケーブルを繋ぎ換えることにより発表を行って下さい。

参加費: 学会員1,000円、非会員2,000円(学生の場合、会員・非会員問わず1,000円)

(いずれも講演資料代を含む)

※ 学生の聴講(講演資料無し)も歓迎します(無料)

※ 5月11日の特別講演会は一般公開です。誰でも聴講可能です(無料)

情報交換会: 「シェフズレシピ」弘前市大町1-1-2 アートホテル弘前シティ内2F 電話: 0172-37-9555

会費 4,000円(予定)

<https://www.art-hirosaki-city.com/restaurant/>

スケジュール

第1日目: 5月11日(金)

【雪氷学会東北支部】

9:15~10:45 理事会

11:00~12:15 総会、授賞式

【雪工学会北東北支部】

12:20~13:20 総会

【以下、両学会支部合同】

13:30~14:30 特別講演会

「地すべりの現象と地形、地すべり対策」

講師 檜垣大助 氏(弘前大学 農学生命科学部 教授)

14:40~17:05 研究発表会

18:30~20:30 情報交換会

(場所: シェフズレシピ、JR弘前駅中央口前 アートホテル弘前シティ2F)

第2日目: 5月12日(土)

9:00~12:20 研究発表会

〈研究発表プログラム〉

第1日目：5月11日(金)

14:40～15:55 樹氷・積雪I

座長：赤田尚史(自然科学研究機構・核融合研)

1. 山形蔵王における雪氷現象の観測(平成29年度)
○沖田圭右・山谷睦・沼澤喜一・小林英則・原田俊明(日本地下水開発株式会社)
2. アイスモンスター(樹氷)について(その1) 戦時下の蔵王で行われていたラジオゾンデ開発と飛行機凍結防止に関する資料の発見
○柳澤文孝(山形大学学術研究院(理学部担当))
3. アイスモンスター(樹氷)について(その2) 昭和初期、高山植物学者の田邊(濱田)和雄・武田久吉らによって行われたアイスマニア(樹氷)に関する研究について
○柳澤文孝(山形大学学術研究院(理学部担当))
4. アイスモンスター(樹氷)について(その3) 2018年1月7日、白山で発見されたアイスマニア(樹氷)について～成因と発見の意義～
○柳澤文孝(山形大学学術研究院(理学部担当))
5. 宮城蔵王のスキー場における鑑賞植物の植栽による積雪状態への影響評価
○伊吹竜太・原田鉛一郎(宮城大学)・齊藤智大(福島県)

〈休憩 10分〉

16:05～17:05 積雪II・利雪

座長：沖田圭右(日本地下水開発株式会社)

6. 平成30年(2017/18年)冬期における新庄の積雪変化について
○小杉健二・安達聖・根本征樹・佐藤研吾(防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター)
7. 八甲田山の積雪水量モデルの検討
○佐々木幹夫(八戸工業大学)
8. 太陽電池アレイの積雪荷重変化と気象データの比較-2017/2018冬季 山形県新庄市の事例-
○安達聖・小杉健二(防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター)・千葉隆弘(北海道科学大学)・伊高健治(弘前大学北日本新エネルギー研究所)
9. 地下水熱ヒートポンプ冷暖房システムの稼働状況(2017年度)
○服部恭典(日本地下水開発株式会社)

第 2 日目:5 月 12 日(土)
9:00～10:00 気象・気候・積雪Ⅲ
座長：朝岡良浩(日本大学工学部)

10. 2018 年八幡平エリアの気象定点観測について
○平山順子 (北東北エリア雪崩事故防止研究会)
11. かまくら作りに適した気候条件と将来の適域分布
○石田祐宣・対馬美雪 (弘前大学)
12. 2017-2018 年 青森県の雪況
○小関英明 (青森職業能力開発短期大学校)・佐藤清一 (終身会員)
13. 東北 6 県における 2017-18 年冬季の降積雪の特徴
○本谷 研 (秋田大学教育文化学部)

〈休憩 10 分〉

10:10～11:10 UAV 雪氷計測
座長：根本征樹(防災科学技術研究所雪氷防災研究センター)

14. 岩手県南部一関市周辺、中国雲南省梅里雪山明永冰河におけるドローンによる寒冷地・雪氷環境モニタリングの応用
○佐藤 建・小林健一 (一関工業高等専門学校未来創造工学科)・筑後桃子 (一関工業高等専門学校専攻科生産工学専攻)
15. ドローンと簡易マルチスペクトルカメラを用いた雪氷環境観測の試み
○小林健一・佐藤 建 (一関工業高等専門学校未来創造工学科)
16. UAV 搭載用の可視近赤外カメラシステムを用いた雪渓のアルベド分布推定
堀江健太 (有限会社細田測量設計事務所)・○朝岡良浩 (日本大学工学部)・照井敬晶 (株式会社アルバック)・角張龍平(日本大学工学研究科)・若林裕之(日本大学工学部)
17. 熱帯地方に位置する山岳氷河を対象とした UAV を用いた観測手法の有効性について
○角張龍平(日本大学工学研究科)・朝岡良浩・若林裕之 (日本大学工学部)

〈休憩 10 分〉

11:20～12:20 凍土・計測・着雪・吹雪
座長：本谷 研 (秋田大学教育文化学部)

18. 北海道の土壤凍結深の測定:2011～2017 年冬季
○原田鉱一郎 (宮城大学食産業学群)・吉川謙二 (アラスカ大学フェアバンクス校)・曾根敏雄 (北海道大学低温科学研究所)
19. 高時間分解能大気水蒸気捕集システムの開発
○赤田尚史・田中将裕 (自然科学研究機構・核融合研)・柿内秀樹 (公益財団法人環境科学技術研究所)・城間吉貴・細田正洋・岩岡和輝・床次眞司 (弘前大学)・古川雅英 (琉球大学)・Tibor Kovács (University of Pannonia)・真田哲也 (北海道科学大学)
20. 換気口開放時の着雪と室内の消費電力量に関する実験的研究
○松村光太郎 (岩手県立大学)・林 基哉 (国立保健医療科学院)・小杉健二・佐藤研吾 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター)
21. 根室北部を対象とした吹雪予測システムの試験運用について (2017/18 年冬期)
○根本征樹・中村一樹・上石 黙 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター)

＜総会・特別講演会・研究発表会 会場案内＞

会場:弘前大学創立50周年記念会館 2F 岩木ホール

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地
会場世話役: 石田 祐宣 (弘前大学大学院理工学研究科)

交通案内：

○JR 弘前駅・弘前バスターミナルから徒歩 20 分強、バス 15 分(「小栗山・狼森線」「学園町線」で弘前大学前下車)、タクシー5分

○東北自動車道、大鰐弘前 IC より車で 20 分

※ 駐車場はゲートがあり、駐車カードが必要です。大学正門守衛室で利用申請を行ってください。
なお、土曜日は駐車カード不要です。



発表者の皆様へ

本原稿の提出 :

- ・ 提出期限 6月8日(金)
- ・ 本原稿は「東北の雪と生活」に掲載されます。A4版 camera ready、6ページ以内で作成してください。投稿原稿のフォーマットは別紙を、投稿規程は支部 web サイトをご参照ください (http://www.seppyo.org/~tohoku/journal_kiyaku.htm)。原稿の種類（論文、報告、解説、資料、その他）を必ず明記してください。講演要旨と同様に、電子メールにてpdfファイルで提出して下さい。
- ・ 誌上発表のみも受け付けます。本原稿を投稿する際には、誌上発表のみである旨を明記下さい。
- ・ 自筆署名を行った著作権譲渡承諾書の提出も同時に必要です。雛形は支部 web サイトをご参照下さい。

本原稿の提出先 : 〒990-2313 山形県山形市松原 777 番地

日本地下水開発株式会社 山谷 瞳

電話:023-688-6002 Fax:023-695-4747 E-mail: myamaya@jgd.jp

発行 : (公社) 日本雪氷学会東北支部事務局

発行責任者 : 若林裕之

〒963-8642 福島県郡山市田村町徳定字中河原 1

日本大学工学部 情報工学科 気付

電話&FAX:024-956-8836

Email : wakabayashi.hiroyuki@nihon-u.ac.jp